

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究代諾者（保護者等）に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	小児の軽症頭部外傷時におけるCT検査の実施理由についての実態解明		
② 実施予定期間	承認後～ 2025年12月31日		
③ 対象患者	頭部外傷にて当院を受診した6歳未満児のうち、頭部CT検査を受けられた患者さま。		
④ 対象期間	2022年4月1日～2023年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	脳神経外科		
⑦ 研究責任者	氏名	高橋研二	所属 脳神経外科
⑧ 使用する資料等	診療情報等より下記事項を調査します。 患者背景（年齢、性別、既往歴、薬剤内服の有無）、初診時所見（受傷機転、随伴症状など）、CT検査所見の異常の有無、転帰レセプトと電子カルテよりCT検査実施の理由を調査		
⑨ 研究の概要	小児の軽症頭部外傷は頻度の高い受診理由であり、外傷の大小問わず多くの患児で頭部CT検査が実施されている。小児におけるCT検査は被ばく量が多いため不要な検査は回避すべきであり、適正診療では頭部CT検査適応基準に基づいて実施することが重要である。しかし、現状として申請者らの予備調査ではCT検査が実施された理由のほとんどは“家族等の希望”であった。本研究の目的は、小児の軽症頭部外傷に対するCT検査の実施理由を調査し、不要なCT検査を減らすことである。そのために①“家族等の希望”で実施された本邦の検査件数をレセプトデータ解析で明らかにし、②CT検査実施理由（コメントコード）が選択された原因を追求する。さらに③頭部CT適応基準に基づく診療へと適正化するために医師を対象とした教育プログラムを提唱し有効性を検証する。そして、これらの結果を広く医学界や国民に還元して小児の不要なCT検査を減らすことにつなげることができる。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		

⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。
⑬ 知的財産権	久留米大学聖マリア病院に属します
⑭ 研究の資金源	久留米大学脳神経外科学講座の教室研究費にて実施します。
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 脳神経外科
	電話 0942-35-3322（代表）